

# 鹿児島県高度情報化環境整備に関する政策提言書

—180万県民のためのICT社会の形成—



**ブロードバンド・ゼロ地域脱出を目指して！**

平成17年5月



社団法人鹿児島県情報サービス産業協会

鹿児島県高度情報化推進部会(KAIPA)

はじめに

鹿児島県内の高度情報化は、市街地を中心に部分的に進展していますが、山間部・離島の一部の地域においては高度通信インフラの整備が進まず、高度情報化は困難な地域となっています。

(社)鹿児島県情報サービス産業協会の「鹿児島県高度情報化推進部会」が昨年末に実施した「鹿児島県高度情報化に対するアンケート」によると、鹿児島県全域でのブロードバンドインフラの必要性を県民の89%が訴えています。

また、現在のブロードバンドの利用状況は、eメール、グループウェア、IP電話等の活用が多く、大学や一部企業においてはテレビ電話等の活用もみられ、さらに動画等の大容量のデータ伝送を個人・組織を問わず求めていることが判明しました。

進展する高度情報化社会の恩恵を県民誰もが等しく享受出来るように、県内の高度情報化環境整備が緊急の課題となっています。

県勢発展のためには、離島・山間地を多く抱えた地理的条件や財政問題を理由にブロードバンドインフラ整備状況全国でも下位レベルにいつまでも甘んじているわけにはいかない状況で、避けて通れない重要な政策課題であると思われます。

「カみなぎる・かごしま」創りの基盤とするべく、南北 600km 東西 270km という地理的な距離を引き寄せる「大容量・高速のネットワーク時代にも対応できる情報ネットワークの構築」と「その利活用推進」は、行政のリーダーシップの下で、県民・企業が一体となって緊急に取り組む必要があります。

本提言書は、(社)鹿児島県情報サービス産業協会の「鹿児島県高度情報化推進部会」が、県当局様はじめ鹿児島県高度情報化推進議員連盟様・宮崎県当局様・鹿児島県経済同友会様・鹿児島県観光連盟様・薩摩川内市様外の御協力を得て、情報化の実態及び今後の高度情報化社会を調査研究し、「鹿児島県高度情報化環境整備に関する政策提言」としてまとめたものです。

本提言書が鹿児島県の高度情報ネットワーク構築を促し、「カみなぎる・かごしま」の実現に向けて情報の創造地域への飛躍に役に立てれば幸いです。

(社)鹿児島県情報サービス産業協会  
会長 黒坂 信彦

## 目次

第1章 現状と課題 .....	1
1. 地域の高度情報化とその経済的位置付け	
2. 本県における情報通信の普及・整備状況	
3. 県内情報化に対するアンケート考察	
第2章 利活用発見 .....	19
1. 健康・福祉サービスの充実	
2. 生涯教育の充実	
3. 自然に優しく災害に強い社会	
4. 地域産業の振興	
5. 行政(県民サービスの向上)	
6. 地上デジタル放送	
第3章 鹿児島県における地域情報ネットワークの構築.....	35
1. ブロードバンドインフラ構築における民間事業者及び県の果たすべき役割	
2. 具体的な資金調達方法(試案)	
3. 整備後の本県の姿	
4. 開ける未来繋がる九州広がる世界	
5. 国の実証実験、研究開発について	
6. 離島を抱える薩摩川内市の現状と課題	
第4章 推進及び運営体制 .....	50
1. 推進体制	
2. 運営体制:中核情報センターの活用	
3. 実証実験モデル事業の公募について	
(参考) .....	55
1. 沖縄県における離島町村の情報格差への取り組み	
2. 新しい通信技術動向	
3. ブロードバンドの概念図等	
4. 用語の解説、参考文献、部会員名簿・WG員名簿	